

水素・燃料電池社会に向けて

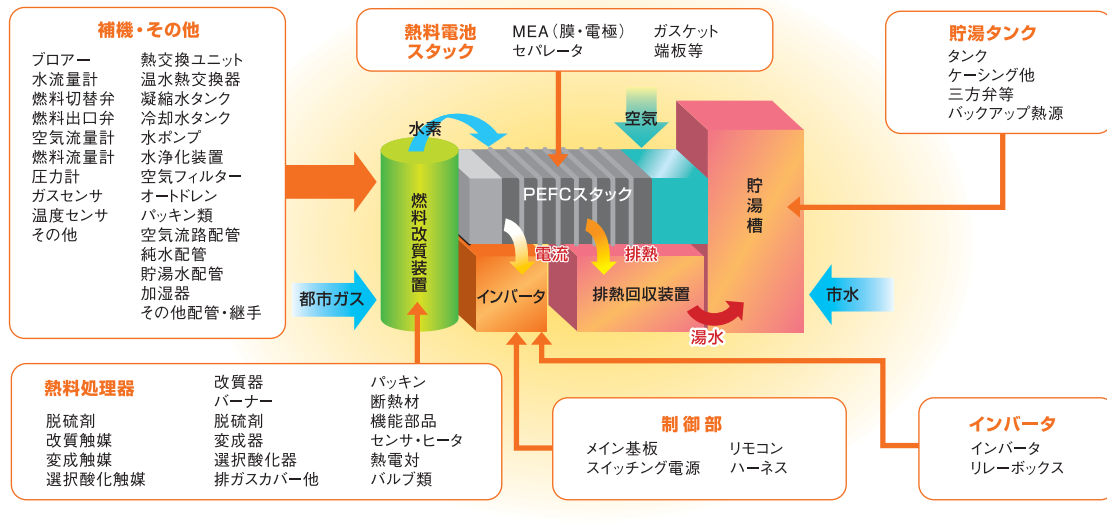
燃料電池への期待

【市場規模の現状と将来見込み】

市場規模	2008年度見込み	2020年度予想
燃料電池	46億円	1兆2,069億円
自動車用燃料電池	5億円	9,000億円

出典:富士経済「2008年版 燃料電池関連技術・市場の将来展望」

- 燃料電池は、多くの部品から構成されており、裾野の広い周辺産業群が必要不可欠な製品です。
- 「補機・その他」の部品関係の燃料電池全体に占めるコストは1/3であり、燃料電池コストを低減するために中小企業の技術開発が必要とされる部分です。



燃料電池関連製品の現状と課題

■燃料電池自動車

- 自動車メーカーが通常の乗用車並みの価格帯を目指しているものの、現時点では製造コストが高く本格的な販売に至っていません。
- 燃料電池自動車のコストの抜本的な低下や耐久性の向上等を目指す取組みの一つとして、JHFCプロジェクトで水素ステーションを活用した実証試験で得られる成果をフィードバックした取組みがなされています。

■定置式燃料電池

- 定置式燃料電池については、2009年から一般家庭向き燃料電池エネファーム (PEFC) が販売されました。まだ、価格も高く本格的な普及のため、メーカー等によりコスト削減の取組みが必要です。

ものづくり企業の新規参入や量産化の取組みによるコストダウンが期待されています。



おおさかFCV推進会議

<http://www.osaka-fcv.jp/>